

# Electric E-Scooter BLADE USER MANUAL

取扱説明書



<https://evmart.jp/>

# はじめに

本製品は電動スクーターです。安全な道路で本製品を使用してください。

このスクーターを充電し、操作する前に、本書の全ての指示と安全警告に目を通し、理解し、遵守することが重要です。

電動スクーターの乗車には固有のリスクと危険が伴います。転倒や怪我のリスクを最小限に抑えるために、このスクーターの安全な操作と制御方法を理解してご使用ください。常に適切な判断、常識、および保護具を使用してください。

## ■法律遵守と保安基準

道路交通法と保安基準に適合する保安部品は標準装備されています。

・前照灯 ・番号灯/尾灯 ・警音器 ・後写鏡  
・制動灯 ・方向指示器（前後ウインカー） ・速度計

## ■公道走行

法律上は原動機付自転車となります。公道走行の際は以下の点をお守りください。

- 1、ナンバー登録が必須です
- 2、自賠責保険への加入が必須です
- 3、ヘルメットの着用が必須です
- 4、該当する免許証の携帯が必須です
- 5、車道を走る必要があります

取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。

取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

■製品の仕様変更などにより、本書に記載の画像や内容が実際の製品と多少異なる場合があります。

■この取扱説明書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。

■本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

# 警告表示について

## ■安全にご利用いただくために

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と電動キックボードの損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

※不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書に記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

箱を受け取ったら、輸送中の破損やネジの緩みがないか、中身を点検してください。何か違和感がある場合は、写真を撮り、すぐに購入先にご連絡ください。

## ■表示マークについて

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。



### 警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

「傷害を負う可能性または物質的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



### 強制

- ・異常を発見したら販売店にご相談ください
- ・変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換してください
- ・変形を直しての再使用は破損の原因になるので絶対に行わないでください

#### <異常を発見したら>

まずはBLADEの正規日本代理店であるevmart、弊社が提携している販売代理店または、修理・メンテナンス店へご連絡ください。

弊社へのご相談なしに、ご自分で、または弊社と契約のない方が車体を分解したり改造した場合は、動作保証ができないため、有償無償問わず修理やメンテナンスをお受けすることができなくなりますので、ご注意ください。

# 安全上のご注意

## 安全に関する一般的な警告-1

---



- 常にヘルメットを着用してください。
  - 複数のライダーと一緒に乗ったり、その他の方法で体重制限（120kg）を超えないようにしてください。
  - スクーターは意図された目的に沿ってのみ使用してください。
  - 毎回乗車する前に、部品やネジの緩み、タイヤのパンク、損傷の兆候、過度の摩耗がないかスクーターを点検してください。何か違和感がある場合は、直ちに運転を停止し、購入先に連絡してください。
  - スクーターの操作に慣れるために、ゆっくりと走り始めてください。1速からスタートし、ゆっくりとブレーキを試してください。段差や悪路を走行する場合は、必ず減速してください。
  - スクーターはお子様の手の届かないところに置いてください。これはおもちゃではありません。ライダーは16歳以上の方に限ります。
  - 大雨の中や、3cm以上の水に覆われた路面では電動スクーターを使用しないでください。スクーターを液体の中に沈めたり、バッテリーや電気部品に液体を近づけたりしないでください。
  - 操作に不慣れな人にスクーターを貸さないようにしてください。
  - スクーターはスピードを出せば出すほど、止まるのに時間がかかりますので、公共の場を走行する場合、十分に注意して使用してください。
  - スクーターは滑りやすい路面ではスリップしやすく、ライダーが怪我をする可能性があります。線路を渡るときや濡れているときは特に注意してください。
  - 道路状況や交通状況に応じて速度を調整し、他の交通参加者から距離をとるなど、常に注意してください。
  - 歩行者にも注意し、歩行者に危害を加えるような使い方はしないでください。事故を避けるため、すれ違うときは速度を落としてください。交通規則には必ず従ってください。
- 注意を要する事項
1. 雨天時の制動距離が長くなります
  2. 素材や部品によって摩耗に対する反応が異なる場合があります。部品の寿命を超えた場合、突然破損し使用者に危害を及ぼす可能性があります。応力のかかりやすい部分のひび割れ、傷、変色はその部品が耐用年数を超えていることを示し交換する必要があります。
  3. 夜間に使用する場合は、明るさや路面状況を確認してください。

# 安全上のご注意

## 充電とバッテリーの安全性

---



- リチウムイオン電池は消耗品です。容量が初期値の50%以下になったら、新しいバッテリーに交換してください。交換の際は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- スクーターを長期間保管する前に、バッテリーが充電されていること、スクーターの電源が切れていることを確認してください。
- スクーターは乾燥した涼しい場所に保管してください。過度の低温、熱、日光、雨などの環境条件は、安全な操作に影響を与え、スクーターの寿命を縮める可能性があるため、屋外や屋外の物置に長期間保管しないでください。
- バッテリーが完全に空になるのを防ぐため、少なくとも3ヶ月に一度は充電してください。保管中の緩やかな放電によりバッテリーが完全に空になると、交換が必要になる場合があります。
- バッテリーは低温になると性能が低下します。例えば、気温が0°F (-18°C) 前後の場合、バッテリーの容量は低下します。(-18°C)の場合、バッテリーの容量は50%減少します。気温が上がると容量は元に戻ります。
- バッテリーの寿命と走行距離は、使用状況、気候、条件、ライダーの体重、ライディングスタイル、適切なケアとメンテナンスによって異なります。

### <バッテリーの廃棄について>

- バッテリーは、埋め立てや焼却、家庭用ゴミとして廃棄しないでください。
- リチウムイオン電池に適した地域のリサイクルプログラムを介してバッテリーを廃棄することをお勧めします。お住まいの地域の廃棄物処理業者などにお問い合わせください。
- 使用済み電池の取り扱いを誤ると、環境に甚大な影響を与える可能性があります。使用済み電池を適切に廃棄するために、地域の法律や規制を遵守する必要があります。

# 安全上のご注意

## 充電とバッテリーの安全性に関する警告-1

---



- 感電を防ぐため、コンセントの使用には注意してください。
- 充電器を長時間（24時間以上）接続したままにしないでください。
- スクーターは安全で清潔、かつ乾燥した環境でのみ充電してください。充電器とスクーターは熱くなる可能性があるため、可燃物から遠ざけてください。
- 電動スクーターに付属しているオリジナルのバッテリーパックとオリジナルの充電器のみを使用してください。交換が必要な場合は、購入先にご連絡ください。他のモデルやブランドのものを使用すると、安全でない場合があります。
- バッテリーの損傷や身体への傷害、死亡の原因となる短絡を防ぐため、USB充電プラグのいかなる部分にも触れず、金属製の物にも近づけないでください。
- バッテリーを直接熱に触れたり、高温になる場所に置かないでください。バッテリーを直射日光にさらさないでください。バッテリーが熱くなるような場所にスクーターを車内に放置しないでください。
- バッテリーを鋭利なもので突き刺さないでください。衝撃や力を加えないでください。
- バッテリーがおおよその充電時間内に再充電できない場合は、充電を中止してください。バッテリーの過熱、破裂、発火を防ぐことができます。
- 0°C (32°F) 未満または 40°C (104°F) を超える温度でバッテリーを充電しないでください。性能を損ない、破損、過熱、破裂、発火の原因となり、人身事故や物損事故を引き起こす可能性があります。
- スクーターの充電ポートが損傷していたり濡れていたたりする場合は、充電しないでください。
- バッテリーから過度の熱やにおい、液漏れがある場合や、外観に異常がある場合は充電しないでください。バッテリーが液漏れし、誤って液体に触れた場合は、すぐに水で十分に洗い流した後、医師の治療を受けてください。
- 電池の分解、改造、修理、メンテナンスは絶対にしないでください。事故や人身事故、物的損害を防止するための保護部品や安全部品が破損するおそれがあります。

# 安全上のご注意

## 充電とバッテリーの安全性に関する警告-2

---



■バッテリーの取り扱いを誤ると、性能の低下、寿命の短縮、破裂、発火などの事故が発生し、重大な人身事故の危険性が高まる可能性があります。

■付属のスクーター以外の製品でバッテリーを放電しないでください。他の製品やバッテリーを損傷したり、スクーターの寿命が短くなる可能性があります。バッテリーが過熱、破裂、発火して、人身事故や物損事故を起こす可能性があります。

■充電するときは車体の電源を切ってください

■浸水したスクーターを充電しないでください

■誰もいないとき、または睡眠中にスクーターを充電しないことがより安全です

■感電を発見した場合はスクーターを充電しないようにし、専門家に確認してください。

■45度以上の高温の下で充電したり、バッテリーストレージを放置しないでください。

■濡れた手で充電ポートに触れないでください。

■火気の近くで充電しないでください

# 安全上のご注意

## 電動スクーター本体について

---

### 注意

#### ■初めて乗るときは

当電動スクーターは工場から出荷する際に全数個別にテストしていますが、稀に輸送中に破損する可能性があります。何か違和感がある場合は、乗る前に購入店に連絡してください。

初回および次回以降の走行前に、ブレーキレバーを引き、ブレーキに十分なテンションがかかっていることを確認してください。

■走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら使用を中止して販売店またはメンテナンス契約店舗で点検・整備してください。

→ そのまま使用を続けると事故の原因となる恐れがあります。

■必ず平らな場所に駐輪してください

→ 電動キックボードが倒れて怪我をする恐れがあります。

■走行直後はアシストユニットに触れないでください

→ アシストユニットが高温になっていることがあり、やけどの恐れがあります。

### 警告

■操作スイッチを「ON」にしたまま駐車、停止、押し歩きをしない

■走行中は操作ボタンを注意を払って操作してください。または停止して操作してください。

→ 転倒や怪我の恐れがあります。

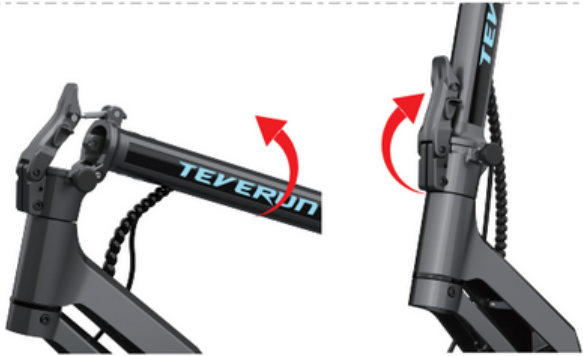
■車体やアシストユニットを分解、改造しない

→ 感電や怪我の恐れがあります。保証の対象外となります。



# ハンドルの組み立て

## How to use products



▲ハンドルポストを起こして、レバーを締めます。

▼ハンドルバーを、同梱の4つのネジで固定します。



## How to fold



▲丸いピンを引っ張り、レバーを矢印の方向に引きます。

▼ハンドルポストを折りたたみます。



# バックミラーの取り付け

バックミラーは輸送時の破損を防ぐために、取り外した状態で梱包いたします。同梱のネジで固定してください。



# 🔌 充電のしかた

- ・スクーターの電源を切った状態にしてください
- ・充電ポートのカバーを外し、充電器を接続します



充電中はランプが赤く点灯、充電が完了すると緑色になります。

# 操作について

ターンシグナル・モードスイッチ



ライトボタン：押すとハイビームになります



ターンシグナルボタン



：押すとフロントとリアデッキの左ウインカーが点滅します



：押すとフロントとリアデッキの右ウインカーが点滅します

<もう一度押すとライトが消えます>



：片方が点滅している状態で、もう片方のターンシグナルボタンを押すと、フロントとリアデッキの左右ウインカーが点滅します



ホーンボタン：押すとクラクションが鳴ります

複数のボタンを押した場合、機能の優先順位は高い方から順に、ターンシグナル、ブレーキ、ライトの順になります。

# ④ ディスプレイについて



- ① 走行中の速度を表示します。
- ② バッテリーの残量を表示します。目安として、2バー以下で充電してください。
- ③ 現在の速度モードを表示します（1～3）●ボタンで操作  
1：低速 2：中速 3：高速
- ④ 電源ボタン：2秒間押すと、ONまたはOFFになります。
- ⑤ アクセル：引くと加速します。強く引けば引くほど速く加速します。
- ⑥ 表示オプションを選択します
- ⑦ 運転時間を表示します

## モードについて



- PRIP : 電源をONにしてからの走行距離  
(モードボタン長押しでリセット)
- ODO : 累積走行距離
- CHA : 使用不可
- VOL : 現在のバッテリー電圧
- TIME : 走行時間

# キックボードの乗り方

## 起動のしかた

---

NFCタイプの場合は、NFCキーをかざしてロック解除する  
カギタイプの場合は、カギでロック解除する

- ①ディスプレイの電源ボタンを押します
- ②MODEボタンでパワーランクを選びます
- ③ディスプレイについているアクセルレバーを引くと走り出します

## 走り出し

---

- まず十分な走行距離を確保してください。
- スクーターは屋内で使用しないでください。
- ハンドルバーには両手を添えてください。
- 片足でスクーターに乗り、もう片方の足で軽く蹴ってわずかに動かします。
- もう片方の足で、ボードを踏み、しっかりと踏ん張ってアクセルを引きます。
- 強い加速に加え、ゆっくりスタートしましょう。

## 正しいブレーキング

---

- 停止するときは左ブレーキから  
フロントとリアのデュアルディスクブレーキを搭載しています。  
ブレーキは、リアブレーキ（左のブレーキバー）を先に使って減速してから、  
フロントブレーキ（右のブレーキバー）を使って完全に停止させるようにしてください。
- 高速走行時は、ブレーキが敏感なため注意が必要です  
特にフロントブレーキはフロントブレーキだけで停止しようとする、  
重心が高くなりすぎてハンドルバーから転倒する危険性があります。

# 🔊 NFCタッチカードキーの使い方



- 1, NFCカードキーを1回かざすと音が鳴り、電源ONが可能になります。
- 2, 右ハンドルのスロットルのパワーボタンを押して電源を入れます。
- 3, 電源オフにする時はスタート時と逆で、パワーボタンを長押しし電源を切ります。
- 4, NFCカードキーをタッチします。これでクローズです。

※NFCカードキーでクローズしないままにしておくと、電源は自由にオンオフができます。ご使用後は、最後のタッチをお忘れではないか、ご確認ください。

## BLADE PRO のスピードについて



●ECOモード時  
速度30km/h ※キックスタート

●TURBOモード時  
速度55km/h

【ECO】 青ランプ点灯  
【TURBO】 青ランプなし

-----  
【SINGLE】 青ランプなし  
【DUAL】 青ランプ点灯



こちらの動画も参考にしてください。

# 日常点検の方法

ご使用に伴い、各部がいたんだりネジが緩んだりしてきます。  
これらを放置して使用を続けると大変危険です。  
安全にご使用いただくために、乗車前に必ず点検をお願い致します。

- ①前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり抜けた  
りしないことを確認する。
- ②スロットルを回した時に、スムーズに戻るかを確認する。  
※必ず電源を切った状態で行ってください
- ③左右のブレーキレバーを強く握った時に、グリップとレバーの隙間が1/2~1/3になるまで  
にブレーキがロックすることを確認する。
- ④ハンドルポストのセーフティロックがロックできるかを確認する
- ⑤ハンドルポスト接合部分の溶接にひび割れがないかを確認する
- ⑥前後のブレーキのワイヤーにさびや切れがないか確認する
- ⑦タイヤに充分空気が入っていて、空気圧はタイヤに記載した気圧範囲になっていること  
を確認する。
- ⑧タイヤに布目が見えるような深い傷がないこと、接地面の模様が十分残っていることを  
確認する（残溝1mm以上）。
- ⑨前後輪ロックネジが緩んでいないかを確認し、緩んでいる場合は必ず固定してくださ  
い。
- ⑩サイドスタンドのネジがしっかりしているかを確認する。
- ⑪テールランプやナンバープレートを取り付けるネジがしっかり固定されているか確認す  
る。ヘッドライトやウィンカーなど、他の部品のネジも全て点検してください。

# 保管とお手入れ

## ■保管場所

電動キックボードは次のような場所に保管して下さい。  
また、保管の際はカバーをかけてください。

- ・平らで安定しているところ
- ・風通しがよく、湿気のないところ
- ・雨露や直射日光の当たらないところ

## ■長期保管するときは

電動キックボードを1カ月以上使用しないで保管するときは、次のことを行ってください。

- ・バッテリーをフル充電にしてから保管する
- ・保管に適した温度（-20～20℃を推奨）で保管する
- ・3か月に1回は充電する

## ■長期保管した後に使用するとき

長期保管した後に再び電動キックボードを使用するときは、次のことを行ってください。

- ・バッテリー残量がない場合は、充電してから使用する
- ・6か月を超えたら点検整備を受ける



# 点検・整備項目



強制

以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。



注意

異常を感じた場合は定期点検と関係なく点検を受けてください。

## 点検項目

- 1, アシスト機能は正常に作動するか、異音がしないか
- 2, モーターからグリス漏れがないか
- 3, 電気配線の接続部にゆるみ、損傷がないか
- 4, コードの断線がないか、フレームへの取り付けは適切か
- 5, 表示ランプは点灯するか
- 6, バッテリーの消耗が早くなっていないか

## 点検時期のめやす

- |     |       |
|-----|-------|
| 1回目 | : 2か月 |
| 2回目 | : 6か月 |
| 3回目 | : 1年  |
| 4回目 | : 1年半 |
| 5回目 | : 2年  |
| 6回目 | : 2年半 |
| 7回目 | : 3年  |